

○平成30年2月1日 総務委員会の第4回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

総務委員会では、今年度のテーマを「活力ある地域づくりについて」、「私学振興について」及び「交通死亡事故抑止総合対策の推進について」と定めており、今回、3カ所の現地視察を行いました。

まず、香川誠陵中学・高等学校（高松市鬼無町）において、同校における伝統文化教育や国際教育の推進について説明を受け、夜間講座への職員の配置体制や私立高校の良さ等について質疑を行った後、武道館等を視察しました。



次に、栗林公園商工奨励館（高松市栗林町）において、栗林おやし塾や栗林公園ボランティアガイドクラブ等、栗林公園を支えている地域づくり団体の活動について説明を受け、外国人観光客の受け入れ態勢等について質疑を行いました。



最後に、英明高等学校体育館（高松市亀岡町）において、スタントマンによる交通ルールを無視した危険な自転車走行に伴う交通事故を再現する、自転車交通安全教室について説明を受けた後、その様子を視察しました。

